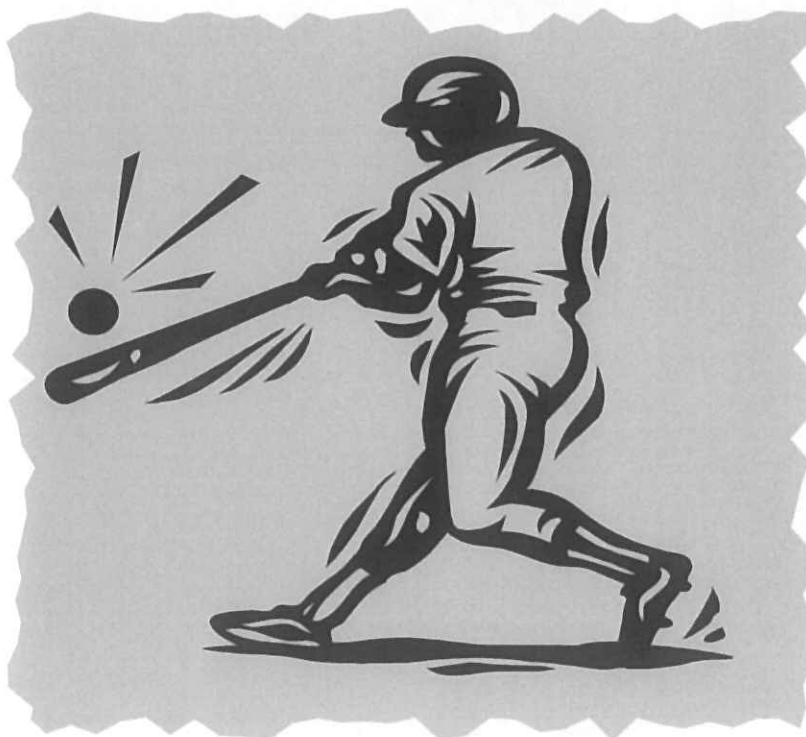


# 第41回 清見台杯少年野球大会

キャッチフレーズ 《夢を持って、白球に！！》



日 程： 令和6年11月23日(祝)、24日(日)、30日(土)、  
12月1日(日)、7日(土)、8日(日)、14日(土)、  
15日(日)、21日(土)、22日(日)、  
令和7年1月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)  
・・・延長の場合も有り。

会 場：トーナメント表参照

主 催：清見台杯少年野球大会実行委員会

後 援：木更津リトルシニア野球協会、木更津市少年野球連盟

水野スポーツ、(有)上総動物霊園、(株)OTEC、(株)友設備

## ごあいさつ

今年も“清見台杯大会”の季節がやってきました。

第41回 清見台杯少年野球大会の開催に際し主催者を代表してご挨拶申し上げます。この大会も回を重ねること41回目、昨年度より新たに上総動物霊園様、OTEC様、友設備様にご後援頂き益々大きな大会として開催される事に対して心より感謝申し上げます

清見台杯少年野球大会は近隣の四市をはじめ周辺地域からの参加もあり、6年生最後の大会との位置づけと共に野球底辺の拡大に大変重要な大会になりつつあると感じております。今年度も、袖ヶ浦、木更津、君津、富津、市原、鴨川、館山、長生地区、夷隅地区から35チームの参加を得て運営出来たことは嬉しい限りです。

本年度も『こども達に試合ができる喜びの場』を提供できる事を嬉しく思います。清見台杯少年野球大会は常に選手の事を一番に考え参加チームの交流の場になるよう運営致します。

## 《夢を持って、白球に！！》

本大会に出場される選手の皆さんは、日頃の練習の成果をいかに発揮して力一杯伸び伸びプレーをされる事を期待します。

指導者の皆様には、日ごろ献身的なご指導に対しまして心より感謝申し上げます。少年野球に取り組む選手が減少している状況ですので一人ひとりの子どもの特徴を把握して根気よく、子ども目線にて野球を楽しく教えて下さい。

結びになりますが本大会を開催するにあたり、ご後援頂きました木更津リトルシニア野球協会様、木更津市少年野球連盟様、水野スポーツ様、上総動物霊園様、OTEC様、友設備様に改めて厚くお礼申し上げます。

更に、ご協力頂きました関係各位、チーム指導者、また子ども達に暖かい励ましと叱咤激励をして支えている保護者、ご家庭の皆様、審判員、大会関係者に深く感謝を申し上げ実行員長としての挨拶とさせて戴きます。

清見台杯少年野球大会

実行委員長

溝渕 伸興

## 大会役員

- 名誉会長 : 近藤 善昭 (090-3067-6492)
- 実行委員長 : 溝渕 伸興 ((090-4173-6289)
- 副実行委員長 : 杉井 明 (080-8437-5121)
- 実行委員 : 加藤 雅明 (090-8308-4976)
- 相川 誠一 (090-1043-5754)
- 正岡 正 (090-5810-3927)
- 曳地 公一 (090-4171-7539)
- 橋本 正樹 (090-4947-9097)
- 上屋 智春 (080-9570-3529)
- 山田 晃 (090-3408-7299)
- 本間 隆行 (090-4375-9369)
- 金本 哲修 (090-3498-8615)
- 奥田 勝大 (090-8945-4716)
- 金子 吉男 (090-2336-1037)
- 青山 勝之 (090-2649-1419)
- 金子 剛 (090-4956-1451)
- 今井 一彦 (090-1452-2433)
- 三村 顕一 (090-5753-7166)
- 斉藤 治 (080-6800-5447)
- 兼近 裕美 (090-6158-7857)
- 川合 慎 (090-9389-8770)

## 41回 清見台杯少年野球大会実施要綱

1. 主催；清見台杯少年野球大会実行委員会
  2. 後援；木更津リトルシニア野球協会、木更津市少年野球連盟、水野スポーツ  
(有)上総動物霊園、(株)OTEC、(株)友設備
  3. 大会日程：  
令和6年11月23日(祝)、24日(日)、30日(土)、  
12月1日(日)、7日(土)、8日(日)、14日(土)、  
15日(日)、21日(土)、22日(日)、  
令和7年1月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)  
\*上記は予備日も含めて記載、日程延長の場合も有ります。
  4. 開会式；実施いたしません。
  5. 閉会式；大会の最終日、決勝戦終了後実施。  
全チーム参加願います。(各賞表彰あり)
  6. 試合方式；トーナメント方式。交流戦あり。
  7. 審判員；義務審判は「清見台杯義務審判(あくまでも基本形)」の通りですが、日程調整時にご確認ください。また場合により該当外の審判を要請することがありますのでその際はご協力願います。
  8. 球場責任者；バックネット裏に本部を設営し、試合の進行、タイムキーパー、  
スコア確認と得点表示を以下の3名体制で実行願います。  
・小学校グラウンドの場合；正責任者 グラウンド提供チームから一名。  
記録員 対戦カードの両チームから各一名。  
(石灰は各ブロック責任者から順次配布いたします)  
・公共球場(市営球場等)の場合；正責任者 大会実行委員会から一名。  
記録員 対戦カードの両チームから各一名。  
\*各チームは球場責任者の指示に従ってください。
  9. グラウンド整備；試合当日にその会場を使用する全チームが準備、整備、片付けを実施します。ご協力ください。
  10. その他；  
・大会中のトラブル；大会本部、球場責任者、審判員、監督で処理します。  
・大会ルール；「大会規則(木更津市少年野球大会特別規則を適用)」を参照願います。
- 注)・ゴミは各チーム責任を持って持ち帰るようお願いします。  
・学校は全面禁煙です。徹底してください。  
・車は極力乗り合いでお願いいたします。

## 第41回（令和6年度）参加チーム一覧

No		チーム名（順不同）	
1	A1	昭和少年野球クラブ	袖ヶ浦
2	A2	神納フレンズ	袖ヶ浦
3	A3	袖ヶ浦ミラクル	袖ヶ浦
4	A4	根形スターズ	袖ヶ浦
5	A5	福王台ファイヤーズ	袖ヶ浦
6	A6	若草ファイターズ	袖ヶ浦
7	B1	金田ビッグウェーブ	木更津
8	B2	岩根フェニックス	木更津
9	B3	祇園ブルーソックス	木更津
10	B4	請西ブレーブス	木更津
11	B5	木更津モーニングス	木更津
12	B6	畑沢コンドルズ	木更津
13	B7	八幡台ボーイズ	木更津
14	B8	富来田ファイターズ	木更津
15	B9	木更津ジャンボ	木更津
16	B10	清川ライナーズ	木更津
17	B11	木更津君津アクアマジック	木更津
18	C1	大和田少年野球クラブ	君津
19	C2	外箕輪・上総小櫃連合	君津
20	C3	君津周西クラブ	君津
21	C4	子安クラブスポーツ少年団	君津
22	C5	周南ビーバース	君津
23	C6	中ファイターズ	君津
24	C7	八重原ベアーズ	君津
25	D1	飯野アストロクラブ	富津
26	D2	青堀少年野球クラブ	富津
27	D3	天羽少年野球クラブ	富津
28	E1	湿津イーグルス	市原
29	E2	三和クラブ	市原
30	E3	光風台ストロングス	市原
31	F1	鴨川BBC	鴨川
32	G1	館野ファミリーズ	館山
33	G2	北条スターズ	館山
34	J1	長生・白子連合	長生
35	K1	大多喜町スポーツ少年団	夷隅

## 各ブロックの試合日程調整担当者

各チームは下記の調整担当者と連絡を取り合い試合日程および義務審判の確認をお願いします。

試合日程調整担当者氏名		連絡先
〔Ⅰ〕ブロック	金 本 山 田 金 子 (剛)	090-3498-8615 090-3408-7299 090-4956-1451
〔Ⅱ〕ブロック	加 藤 青 山	090-8308-4976 090-2649-1419
〔Ⅲ〕ブロック	相 川 正 岡	090-1043-5754 090-5810-3927
〔Ⅳ〕ブロック	曳 地 上 屋	090-4171-7539 080-9570-3529
実行委員長	溝 渕	090-4173-6289
事務局	川 合	090-9389-8770 <a href="mailto:shinkawaiaa@yahoo.co.jp">shinkawaiaa@yahoo.co.jp</a>

トーナメント進捗状況は都度ホームページをご覧ください。

<https://powered-net.bine.jp/kiyomidaihai/>

# 第41回 清見台杯少年野球大会 トーナメント表

日程: 令和6年11月23日(祝)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)、7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)、  
令和7年1月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)・・・延長あり

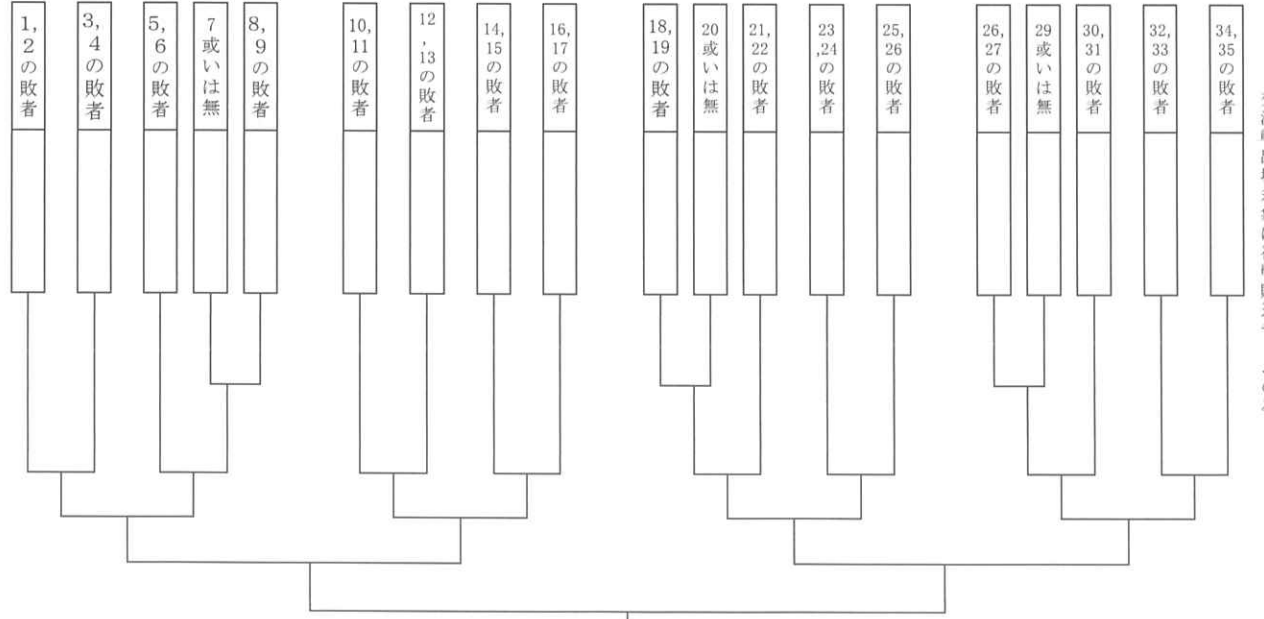
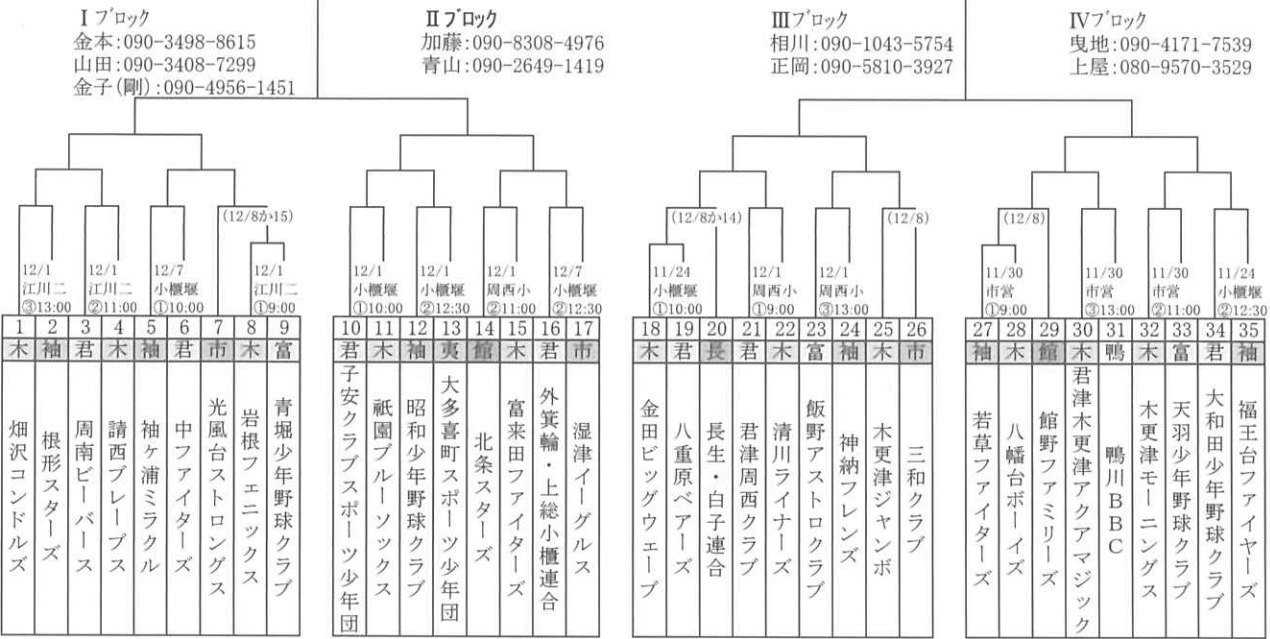
袖ヶ浦:6    木更津:11    君津:7    富津:3    市原:3    鴨川:1    館山:2    夷隅:1    長生:1

本戦優勝;

本戦3位;

\*注意とお願い:

- ・すべての試合会場: 第一試合のチームは会場設営を、最終試合のチームは後片付けを役員と共にお願いします。
- ・小櫃塚の入場時刻について: 前の試合終了後、自チームから出ている義務審判からの連絡を受けてから入場ください(駐車場スペース少ないため)



交流戦優勝;

交流戦3位;

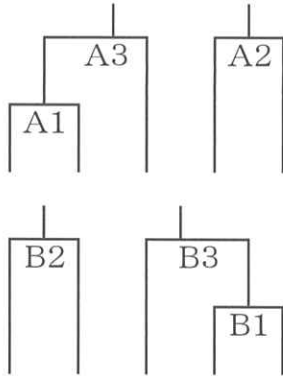
交流戦出場対象は初戦敗退チームのみ。

## 清見台杯 義務審判

あくまでも基本形ですので必ず試合日程調整時にご確認ください

### 【準決勝、三位決定戦までの義務審判】若番が主審と二塁

〈以下の組み合わせでの3試合〉



A1の試合 ; A2から各2名。

A2の試合 ; A3から各2名。

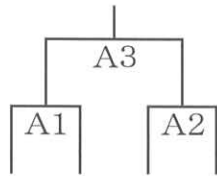
A3の試合 ; A1、A2の敗者から各2名。

B1の試合 ; B2から各2名。

B2の試合 ; B3から各2名。

B3の試合 ; B1、B2の敗者から各2名。

〈以下の組み合わせでの3試合〉



A1の試合 ; A2から各2名。

A2の試合 ; A1から各2名。

A3の試合 ; A1、A2の敗者から各2名。

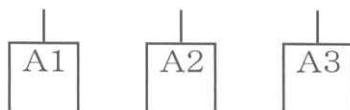
〈以下の組み合わせでの2試合〉



A1の試合 ; A2から各2名。

A2の試合 ; A1から各2名。

〈以下の組み合わせでの3試合〉



A1の試合 ; A2から各2名。

A2の試合 ; A3から各2名。

A3の試合 ; A1から各2名。

### 【本戦決勝戦、交流戦決勝戦】

実行委員会審判団で実施する。



# 大会規則（以下を適用します）

## 木更津市少年野球大会特別規則

### 大会競技規則

1. 最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟が発行する最新「競技者必携」及び「大会特別規則」を適用する。

### 大会特別規則

#### **（出場資格及びチーム構成）**

1. 大会出場資格は、木更津市少年野球連盟の登録チームであり、試合日程の最終日まで参加できるチームをとする事。
2. 大会出場登録でのチーム構成は、成人者（20歳以上）による代表者、監督、コーチ（2名）、スコアラー、介護員（保護者2名以内）と選手9名以上20名以内（1・2年生を含んでもよい）とする。ベンチ入り指導者（監督・コーチ）は、認定指導者有資格者及びスポーツハラスメント講習受講修了者1名以上とする（両資格は同一人物であること）。やむを得ない理由で試合当日に有資格者が不在の場合は、事前に本部役員に相談し了解を得ること。※尚、2025年度以降は3名必須となります。  
認定証については、試合前のトス時（メンバー確認）に認定証の提出を求め確認する。ベースコーチは、全ての大会を通じて選手に限ることとする。
3. 出場チームは、大会規則、大会特別規則を遵守すること。参加する1チームの部員数が8名以下（1・2年生を除く）のチーム同士の場合は連合を認める。  
※連合は選手数が少ないチーム同士数チームでも可能とする。連合チームの中の1チームの部員数が9名を超えても連合していた他のチームの選手数が満たない場合はそのチームの選手登録は救済処置として認める。ただし役員会の承認をえることとする。
4. 前項に違反した場合は、没収試合とし相手チームに勝利を与え、後日協議し処分を言い渡す。

#### **（服装・用具）**

1. 同一チームの監督・コーチ・選手は、統一されたユニホームまたは、所属チームのユニホーム・帽子・ストッキング(アンダーソックス着用)・アンダーシャツを着用すること。代表者・スコアラー・介護員の服装は、平服とし、帽子（所属チームの物）を着帽し、靴は運動靴またはアップシューズとする。※ストッキングはアンダーソックス着用が分かること。
2. 背番号は、監督30番、コーチ28番・29番、主将10番、選手は0番～27番とする。
3. スパイクシューズの色は自由とし、全員同色でなくても良い。（金属歯のスパイクは禁止）
4. ヘルメットは、「J S B B」公認マーク入りで両側にイヤラップの付いたものを最低8個用意し、打者・次打者・走者・ベースコーチ・ボールボーイは必ず着帽すること。
5. 捕手（控え捕手も含む）は、マスク（SGマーク付き及びスロートガード付（一体化も可））・レガース・プロテクター・ヘルメット及びファールカップ（女子選手を除く）を着用する。
6. 投手の守備を除き、選手（打者・守備）の手袋およびリストバンドの使用は認める。
7. 使用球は、全日本軟式野球連盟公認球「J号球」とし、金属バットは「J S B B」公認マーク

入りのものに限る。但し、破損（変形）・加工バットの使用は禁止する。

8. サングラスの使用は、競技者必携の通りとする。

### **（抽選会・開会式）**

1. 大会の出場チームは選手名簿を提出し、開催前に行われる監督会議・抽選会に指導者が出席すること。
2. 大会の開会式での選手宣誓は、組合せ抽選会での結果に基づき、連盟会長が抽選番号クジを引いたチームの選手とする（基本的には主将）。
3. 大会開会式での各チームの集合時間は、開始時刻 30 分前までに受付を終了し、選手は指定された入場行進場所に整列していること。
4. 各チームの入場行進順は、先頭が前年度優勝チーム次に準優勝チーム、続いて抽選番号の若番からプラカードを持つ者が先頭で、背の低い順に並んで行進する。
5. 大会に出場する選手は、開会式に参加するものとし、特別な理由がない限りこれに違反した場合は、試合に出場することが出来ないものとする。

### **（試合の集合時間・準備）**

1. 第1試合のチームは、試合開始予定時刻 1 時間前までに集合し、チーム代表者により受付を終了すること。受付終了後、本部の指示を受けてグラウンドに入る事。第2試合以降も同様とする。
2. 試合中止の場合は、大会本部から連絡する。雨天による判断が困難な場合は、時間までに試合会場に集合し、大会本部の決定に従うこと。
3. メンバー表の提出は、第1試合は試合開始時刻の 30 分前、第2試合以降は 3 回終了時を原則、監督・主将が 5 部持参し、グラウンドルールや注意事項等を確認すること。  
ただし特別な理由がない限り、上記のメンバー表提出期限までにメンバー表の提出がなかった場合は、監督のベンチ入りは認めないものとする。
4. ベンチは、抽選番号の若番が 1 塁側、後番が 3 塁側とする。ただし、1 チームが 2 試合続けて行う場合はベンチの入れ替えをしないことがある。攻守の先攻・後攻はメンバー表提出時にトスにより決定する。
5. 試合前のシートノックは、後攻のチームから開始し、時間は 5 分間とする。ただし前の試合の遅れまたは天候不安定等が生じた場合は、短縮または中止して試合を開始する。
6. シートノック時及び試合開始後、ユニホーム着用指導者の投球練習の捕手（ブルペンを含む）とシートノックの選手からの返球の捕球を行うことは認める。捕手の場合は、マスク着用としマスク無しの場合は立って行うこと。
7. シートノック時、補助員としてコーチ（背番号 29, 28）を認める。ダートサークルに入る補助員はヘルメットを着用すること。
8. シートノックを行うノッカーにボール渡しをする選手は、ヘルメットを着帽のうえ前方からのトス渡しとする。試合中の球審へのボール渡しをするボールボーイも必ずヘルメットを着帽すること。
9. ベンチ入りの代表・監督・コーチ等の指導者が試合中にベンチを離れた場合は、退場したものとみなし再びベンチに戻ることは出来ない。ただし緊急を要する場合に限り認めることとする。

### **（試合時間等）**

1. 大会の試合形式はトーナメント戦とし、1 試合（1 時間 30 分）6 回均等回で勝敗を争うこと

とするが、タイムゲームを最優先とする。1時間30分を超えた時は新しいイニングに入らずその時点の得点を持って勝敗を決する(同点の場合は特別延長戦ルールを適用する)。決勝戦も同様とする。

2. 得点差によるコールドゲームは、3回均等回終了後以降10点差以上、及び4回均等終了後以降7点差以上の時に適用する。決勝戦も同様とする。
3. 日没・降雨・会場利用制限(\*)によるコールドゲームの適用は、4回均等回終了後適用する(同点の場合は抽選とする)。4回均等回終了前については、再試合とし後日の第1試合前に行う(決勝戦も同様とし、後日再試合)。日没・降雨・会場利用制限(\*)の判断は、当該球場責任者・責任審判員が両チームの監督を招集し協議して決定する。(\*:試合会場の利用時間切れ等の制限のことを言う)
4. 上記2・3項における「3回均等回終了、4回均等回終了」については、3回表又は4回表が終了した時点で後攻チームがリードの場合、3回又は4回均等回終了とみなしコールドゲームを適用する。
5. 1試合のタイム数の制限: 6回で攻撃側3回、守備側3回、特別延長戦は1回につき各1回とする。守備時3人以上集まればタイム1回と見なす。

## (試 合)

1. 同一投手の投球回数は1試合4イニング(特別延長も含めて12アウト)とする。1日2試合ある場合は、2試合目については3イニング(9アウト)とする。(1日の合計7イニング21アウト)。  
※高学年大会に於いては、投手は5・6年生とする。特例として4年生以下も認めるが、出来る限り5・6年生を起用すること。(4年生以下の投手の投球回数は1試合3イニング9アウトとする)。
2. 投手の変化球は禁止し、変化球に対してはボールを宣告する。再度繰り返した場合は、その投手は交代させる。(その試合での再登板も認めない)
3. 控えの選手等が準備投球を捕球する際は、捕手に求められる用具をすべて着用していない限り、立って捕球すること。
4. 打者走者及び走者は、走塁の時ベースコーチまたは選手に触れてはならない。その場合走塁補助と見なしアウトを宣告する。
5. 死球等により手当が必要とする場合には、臨時代走(コーティシーランナー)を認める。代走は打順前位の者(投手・捕手を除いても良い)。
6. 審判員に対するアピールは、監督と当該選手に限り認める。また選手交代を行うときは監督が球審に申告する。試合中のメガホンの使用は監督に限り認める。
7. 監督が投手と協議するときは、マウンドまで駆け足を励行すること。また選手への指示についても同様とする。尚、野球規則5.10l(2)は適用しない。
8. アウトを取る意思のない投手の塁への牽制・送球は遅延行為と見なし審判員はボークを宣言する。
9. 仮設球場等の場合は、球場責任者が球審と両チームの責任者に対してローカル・ルールの適用を説明し試合を行う。
10. その回の先頭打者は、準備投球が終わるまで次打者席で待機すること
11. 次打者席では、投手が投手板に触れて投球位置についたら、素振りをしてはならない。な

お、投手が投手板に触れる前の素振りの可否についてはローカル・ルールに従うこと。

- 1 2. 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手に動揺を誘うような大きな声を発しないこと。
- 1 3. ベンチ内の大人がいかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。
- 1 4. 相手チームに対して悪質な抗議・野次等を行うチームには、当事者または代表・監督の退場を大会責任者・球場責任者・当該審判が退場を命じることが出来る。少年野球にふさわしい応援で望むこと。

### **(特別延長戦)**

1. 6回終了後または1時間30分を超え、後攻の攻撃終了時で同点の場合は、特別規則を適用し、直ちに「特別延長戦」を実施すること。
2. 打者は前回の継続打者、走者は前回の最終打者が1塁として2塁・3塁の走者は順次前打者として1死満塁で1イニング行い、点数の多いチームを勝者とする。1回で勝者が決定しない場合はさらに継続打順で1イニングを行い、なおも勝者が決定しない場合は抽選とする。決勝戦も同様とする。
3. 特別延長戦中の降雨・日没については全て抽選とする（決勝戦も同様とする）。
4. 抽選方法は、球場責任者・責任審判員の指示に従う。
5. 特別延長戦での選手の交代は認める。ただし既に交代した選手の交代は認めない。

### **(附 記)**

1. 試合会場（フィールド外を含む）に於いて、試合前の練習等での選手のバットの使用は禁止する。ただしベンチ入り後の指導者によるバットを使った守備ノックと選手のベンチ前での素振り（指導者立会いのもと）は認める。
2. 試合前のメンバー交換後、次試合の両チームの先発バッテリーのブルペンでの投球練習を認める。
3. ベンチ入り10分後にシートノックを開始する（時間の短縮を目指すため）。
4. 各会場に於いては、ベンチ内への組立椅子・机等の持込・使用は禁止する。なお試合終了後はグラウンド整備の手伝いとベンチ内の清掃を行うこととする。
5. 申告故意四球は野球規則（5.05（b）（1））の通り、継続採用とする。

### **(審判規定)**

1. この規定以外の必要事項は、審判員が大会責任者（ここでは球場責任者）と協議して決定する。

### **(審判員の服装)**

1. 責任審判員、義務審判員ともズボンはチャコールグレー、上着（シャツ）はブルーを着用し、帽子については紺系統のものを着用すること。
2. ユニホーム、ジャージー等でのジャッジは禁止する。
3. 靴については、黒系の靴を履くものとする。
4. 審判員もSGマーク付きのマスクを使用すること。

**※以上の大会特別規則は令和6年3月2日付（4月14日一部追加）で改訂**

# 閉 会 式

大会の最終日に本戦決勝戦終了後実施。

	項 目	実 施 要 綱																																													
1	選手集合・整列	ピッチャープレートを中心に本戦優勝、準優勝、3位チーム、交流戦優勝、準優勝、3位チームを挟んで全チームが整列。キャプテンを先頭に背の低い順に並んでください。																																													
2	開式宣言	副実行委員長（杉井）																																													
3	優勝カップ返還	昨年度、本戦・交流戦優勝チームから優勝カップ返還レプリカ贈呈																																													
4	成績発表	審判団																																													
5	表彰	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">本 戦</td> <td style="width: 15%;">優 勝</td> <td style="width: 70%;">・・・4名前へ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準優勝</td> <td>・・・4名前へ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第三位</td> <td>・・・4名前へ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>敢闘賞(第四位)</td> <td>・・・3名前へ</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border-top: 1px dashed black;"></td> </tr> <tr> <td>交流戦</td> <td>優 勝</td> <td>・・・4名前へ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準優勝</td> <td>・・・4名前へ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第三位</td> <td>・・・4名前へ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>敢闘賞(第四位)</td> <td>・・・3名前へ</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border-top: 1px dashed black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>最優秀選手賞</td> <td>（本戦・交流戦の優勝チームから各1名）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>優秀選手賞</td> <td>（出場全チームから、原則は各1名）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>監督賞</td> <td>（出場全チームから、各1名）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボールボーイ賞</td> <td>（出場全チームから、原則は各1名）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>優勝監督賞</td> <td>（本戦・交流戦の優勝チーム監督）</td> </tr> </table>	本 戦	優 勝	・・・4名前へ		準優勝	・・・4名前へ		第三位	・・・4名前へ		敢闘賞(第四位)	・・・3名前へ				交流戦	優 勝	・・・4名前へ		準優勝	・・・4名前へ		第三位	・・・4名前へ		敢闘賞(第四位)	・・・3名前へ					最優秀選手賞	（本戦・交流戦の優勝チームから各1名）		優秀選手賞	（出場全チームから、原則は各1名）		監督賞	（出場全チームから、各1名）		ボールボーイ賞	（出場全チームから、原則は各1名）		優勝監督賞	（本戦・交流戦の優勝チーム監督）
本 戦	優 勝	・・・4名前へ																																													
	準優勝	・・・4名前へ																																													
	第三位	・・・4名前へ																																													
	敢闘賞(第四位)	・・・3名前へ																																													
交流戦	優 勝	・・・4名前へ																																													
	準優勝	・・・4名前へ																																													
	第三位	・・・4名前へ																																													
	敢闘賞(第四位)	・・・3名前へ																																													
	最優秀選手賞	（本戦・交流戦の優勝チームから各1名）																																													
	優秀選手賞	（出場全チームから、原則は各1名）																																													
	監督賞	（出場全チームから、各1名）																																													
	ボールボーイ賞	（出場全チームから、原則は各1名）																																													
	優勝監督賞	（本戦・交流戦の優勝チーム監督）																																													
6	来賓挨拶	木更津リトルシニア野球協会殿（鈴木監督） 木更津市少年野球連盟殿（荻野会長）																																													
7	選手挨拶	選手代表（優勝チーム主将）																																													
8	実行委員長挨拶	実行委員長（溝渕）																																													
9	閉会宣言	副実行委員長（杉井）																																													
	選手退場																																														

## 表彰対象および各賞賞品

- ・本戦優勝；優勝カップ（持ち回り）（レプリカとして次年度トロフィー）  
表彰状、メダル及び副賞  
準優勝；トロフィー、表彰状、メダル及び副賞  
第三位；トロフィー、表彰状、メダル及び副賞  
敢闘賞（第四位）；トロフィー、表彰状及び副賞
- ・交流戦優勝；優勝カップ（持ち回り）（レプリカとして次年度トロフィー）表  
彰状、メダル及び副賞  
準優勝；トロフィー、表彰状、メダル及び副賞  
第三位；トロフィー、表彰状、メダル及び副賞  
敢闘賞（第四位）；トロフィー、表彰状及び副賞
- ・最優秀選手賞；トロフィー、表彰状（木更津リトルシニア野球協会殿提供）  
（本戦・交流戦の優勝チームから各1名）
- ・優秀選手賞； 「盾」・・・自チーム監督からの選考とする  
（出場全チームから、原則は各1名）
- ・監督賞； 「盾」・・・一試合目の対戦相手チーム監督からの選考とする  
（出場全チームから各1名）
- ・ボールボーイ賞（基本的に低学年）；「キーホルダー」  
・・・自チーム監督からの選考とする（出場全チームから、原則は各1名）
- ・優勝監督賞；「盾」  
（本戦・交流戦の優勝チーム監督）

後援団体・各位より、

- ・ご厚志；木更津リトルシニア野球協会殿  
水野スポーツ殿、（有）上総動物霊園殿  
（株）OTEC殿、（株）友設備殿

## 大会優勝記録

回	年度	優勝チーム	交流戦優勝チーム
1	S 5 9	清見台南チーム	—
2	S 6 0	あさひチーム	—
3	S 6 1	つばさ子ども会	—
4	S 6 2	清見台南4丁目フェローズ	—
5	S 6 3	江沢子ども会	—
6	H 1	つばさ子ども会	—
7	H 2		—
8	H 3	鎌足少年野球チーム	—
9	H 4	つばさ子ども会	—
10	H 5	木更津一小ジャンボ	—
11	H 6	西清ナインズ	—
12	H 7	西清ナインズ	—
13	H 8	鎌足リトルヒーローズ	—
14	H 9	鎌足リトルヒーローズ	—
15	H 1 0	鎌足リトルヒーローズ	—
16	H 1 1		—
17	H 1 2	杉の子子ども会	—
18	H 1 3	東清ファイターズ	—
19	H 1 4	富岡ファイターズ	—
20	H 1 5	金田ビッグウェーブ	富岡ファイターズ
21	H 1 6	西清ナインズ	岩根フェニックス
22	H 1 7	岩根フェニックス I	坂田ジュニアクラブ
23	H 1 8	請西ブレーブスA	吉野ボーイズ
24	H 1 9	君津周西クラブ	天神山ジュニアフレンズ
25	H 2 0	富岡ファイターズ	根形スターズ
26	H 2 1	君津周西クラブ	福王台ファイヤーズ
27	H 2 2	畑沢コンドルズ	根形スターズ
28	H 2 3	畑沢コンドルズ	子安クラブ スポーツ少年団
29	H 2 4	昭和少年野球クラブ	子安クラブ スポーツ少年団
30	H 2 5	子安クラブ スポーツ少年団	姉崎レジェンズ
31	H 2 6	坂田・大和田連合	若草ファイターズ
32	H 2 7	木更津モーニングス	畑沢コンドルズ

回	年度	優勝チーム	交流戦優勝チーム
33	H 2 8	木更津モーニングス	岩根フェニックス
34	H 2 9	請西ブレーブスA	岩根フェニックス
35	H 3 0	畑沢コンドルズ	青堀少年野球クラブ
36	R 1	大和田少年野球クラブ	富来田ファイターズ
37	R 2	請西ブレーブスA	長浦少年野球クラブ
38	R 3	富来田ファイターズ	袖ヶ浦ミラクル
39	R 4	八重原ベアーズ	袖ヶ浦ミラクル
40	R 5	富来田ファイターズ	請西ブレーブスA
41	R 6		